

---

## 平成 23 年度第 2 回恵那市総合計画推進市民委員会

### (会議議事録要約版)

日時：平成 23 年 8 月 9 日 (火)

13 時 00 分～

場所：恵那文化センター 集会室

---

- 1 会長あいさつ
  - 2 市長あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 総合計画前期基本計画の達成状況について
    - (2) 意見交換
  - 4 その他
- 

出席委員	有本信昭委員、安藤洋子委員、市川美彦委員、伊藤保直委員、勝邦好委員、金木真苗委員、樹神和昭委員、近藤良三委員、篠原重遠委員、鈴木峰夫委員、鈴木今衛委員、田中征衛委員、永野司委員、橋本典明委員、服部ゆかり委員、平井一兵委員、藤井忠欣委員、牧野倫太郎委員、丸山朝夫委員、三宅明委員、宮澤博光委員、宮地政臣委員、山田基委員、山本和男委員、渡辺正人委員 (敬称略)
傍聴者	1 名

---

### 会議の公開、会議録の公表について (確認) [全員了承]

#### 1 会長あいさつ

有本会長 皆さんこんにちは。本日は大変暑い中、ご出席いただきありがとうございます。

日本はあれだけの大きな震災や原子力発電所の事故がありながら、世界の中では円高である。投資家に言わせると、円が一番安全だという見方をされているらしい。これは本当かなと思う。国民の金融資産はどこにあるのかなと思う。それで本当に安全なのかという思いがしながら、あまりの経済の動きの早さについて行けない今日この頃だ。願わくば、国民のみながあまり無理をしてお金を貯めないで、将来の不安がなくて、それなりのお金が使ってもらえるような内需拡大策というか、現在のデフレのスパイラル、マイナスの循環を止めたり、プラスに変えていくような経済政策を力強く政治の世界にやってもらわないとたまらないなと考えながら参った。

こういったことは、皆さんの日々の暮らしにかかわる重要な事柄なので、一生懸命新聞、テレビを見ていただきながら日本の社会の5年10年先を議論していただくとありがたい。皆さんのご意見をお聞かせいただくとありがたい。

## 2 市長あいさつ

可知市長

皆さんこんにちは。大変暑い中ご出席いただき感謝する。

暦では秋が来たが、猛暑の連日で、昨日、東北電力はもう一杯だということだ。今会長からもあったように、日本はこれだけの震災を受けながらも円が高いというのはどういうことになっているのかと思った。これから日本の企業が心配だ。そして、私どもの行政もそういうところの影響を大きく受けるのではないかと心配している。

恵那市もいろいろな事業がある。日本大正村で大正100年記念事業やスケート場で岐阜県消防操法大会、来週はここでNHKのど自慢が開催されるということで、大変暑い夏を過ごさせてもらっている。

今日話しをさせていただく中で、恵那市の経営が新しく出来たので内容について説明をさせていただく。最初に平成19年につくった。それから数えて5年発行させてもらった。最初から比べるとずいぶん厚くなった。それだけ中身が濃いかなとも思うが、また大きく問題もあるということではないかと思う。

前期の達成状況は、事業費のベースでは89.8%は達成ができたということだが、めざそう値の達成状況をみると31.3%という結果だ。策定時より上回ったものが68.8%ということだが、まだまだしっかりやっていかなければならないということだ。市民意識調査を行って、17年度より上回った満足とやや満足を合わせた数値が55項目中33項で60%あった。不満、やや不満をあわせた数値で平成17年度より改善された項目が、55項目中81.8%であった。内容的には少し前進をしていると思うが、まだまだ100%ではない。その辺りもご議論いただき、後期の計画にどのように反映をしていくかを考えていただきたい。市民意識調査はこれまで3回実施してきたが、これから毎年行うことを計画している。これは、市民から行政への通信簿というイメージで毎年行うことを考えている。毎年行って、市民がどのように行政を評価しているかを確認していきたいと考えている。

併せて、行財政改革大綱と行動計画の成果は、第1次の5年間が終わった。その結果がどのような状況であったかということ、完了した実施項目が82.1%。そして削減効果額は64億3千6百万円で、目標が70億5千百万円であったので91.3%の達成率ということだ。

皆さんのお陰で、少し上向いてきたかなと思っている。先ほども申した

が、これから世の中大変厳しくなってくる。そうすると、今まで計画していただいたことは、当然財源を裏づけしてきているが、そういったことがどうなっていくのかが心配である。その都度見直しをさせていただき、事業も見直しをしていかなければならない。その辺りもお願いをしたい。

今日は各部会に分かれてご議論いただくことになるが、よろしく願います。

## 委員出席状況の報告

### 3 議事

#### (1) 総合計画前期基本計画の達成状況について

有本会長 本日の議題が2つとその他があり、その後各部会の開催となっている。時間配分として、部会を1時間から1時間半を予定しているのですが、これから議事が終了するまでで1時間程度で全体会を終わらせていただきたい。

送付された資料には、事前に資料に目を通していただくようにとあるが、分厚い資料で、内容が十分に分からないというのが正直だと思う。これから30分程度で事務局から報告をして、その後意見交換になる。意見交換は細かい内容まで意見交換できないと思うので、基本的な質問を全体で受けさせていただき、細部については部会でお願いしたい。

[事務局による説明]

#### (2) 意見交換

有本会長 ご質問などがあればお願いしたい。

委員 会長からも話があったが、資料について要望したい。今回資料が手元に届いたのが3日前であった。3日間でこれだけの資料を読むのは不可能だ。これにかかりきりになることもできない。私はあるシンクタンクに所属しており、そこである程度調べさせた。その結果を付箋を貼って持っているが、なかなか理解しにくい。こういった役目をいただいた以上少しでも資料を精読しながら会議に臨みたいと考えているので、なるべく早く資料がいただきたい。

もう1点、恵那市の経営を説明いただいた。65ページの各部課の評価の見方についてだ。AとEはゼロ。BとDは若干あるが、ほとんどがCに集中しているところに疑念を持っている。目標設定そのものが難易度の低いものではないのかという感じもしている。市民意識調査でも20パーセント30パーセント平均で行政に不満があるということは、単なる不満ではなくて、行政に高い期待をもっているという理解をしたならば、この30パーセントは高い目標値で高い実績を上げることを期待しているからこそ現状の出来高については不満だということもある意味考えられるのではないか。そこで、目標値はできるだけ高く、高過ぎてよいというものではないが、

実現可能な範囲の目標値を設定する努力は、後期計画の中でされるのかどうか。今後の部会の中で、私の判断の指標としたい。経済状況が厳しくなる中で、最小の経費で最大の効果を上げることが今行政に求められている強い市民の要望であると理解している。ぜひ、達成可能な範囲でできるだけ困難度の高い目標設定をしていただき、その結果 80 パーセントの達成率であってもこれについてはきちっと人事評価ができるような体制を行政の中で持っていただきたい。19 年度から出されているということだが、65 ページの表に対応するこれまでのものを次回でよいので、出してもらいたい。これまでの傾向がどうなのか知りたい。

有本会長  
小嶋部長

同様の質問はないか。なければ、事務局の説明をお願いします。

目標管理だが、職員の勤務評価は半期ごとに 5 項目の目標を立てて行っていた。64 ページにあるように 20 年度から目標管理というものに初めて取り組んだ。目標管理というものが長らく市役所の中では行われていなかったもので、個人の目標だけではなく、それとリンクさせる形でそれぞれ部や課の目標をつくってやってみようということで始めた。本来はおっしゃるとおり、総合計画のめざそう値を達成するために仕事を行っているので、そこへのリンクは当然必要だが、目標をつくった段階で、そこまでの分析ができていない。これからはそういった視点で年間の目標を立てていく必要があるのかなと意見を聞いて感じた。

過去の 20 年度からの経過については、恵那市の経営で公表しているので、資料をお渡しするが、結果については同様の分布である。毎年同様のレベルの目標で、同じような達成状況であるという傾向に変わりはない。

有本会長  
委員

そのほかに意見はないか。

総合計画の基本となる全体的な財政問題と行財政改革について、どのように考えているかお聞きしたい。

恵那市の経営を読ませていただいた。財政指標についても読ませていただいて、この 5 年間で改善していただいていることがよく分かった。少子化対策にも力を入れていただき、出生率も上がっているということは、なかなか難しいことだけれど、本当にうれしく思う。

ただ、この指標を見て心配になったことがある。類似団体の中で、上の方にある。経常収支比率も 85%とずいぶん改善されてきてうれしいわけだが、総合計画の財政規模を見たとき、これから 30 億円 40 億円を削減しようとしたとき、本当にこれができるのかという心配をした。市民として、これまでのサービス水準は確保してもらいたいと思う。その中で、行政の中でもさらなる行財政改革をお願いしたい。職員定数の問題と、人件費物件費の問題が指標の中でもずいぶん悪いわけだが、その辺についてこれか

らどのように取り組んでいくのかお聞かせ願いたい。

有本会長  
小嶋部長

関連した質問はあるか。なければ事務局の回答をお願いします。

恵那市の総合計画の抱える基本的な視点での質問をいただいた。今説明させていただいたのは、前期の達成状況だが、ご存知のとおり、皆さま方に進行管理をしていただく後期の総合計画については、前回説明させていただいたとおり、6本の柱があるわけだが、それにプラスして2つのプロジェクト、人口減少対策と長期財政計画を設定した。委員の言われた視点でいうと、何とか人口減少に歯止めをかけ、それによって小さくなる財政規模を少しでも補いながら、長期的な財政では人口減少に伴う税収の減であるとか、平成27年度から32年度まで5年間かけて地方交付税が約23億円減少していくということで、合わせて30億円減少するという2つのことがあるので、今回は2つのプロジェクトで今言われたような恵那市の総合計画上の最大の問題点をクリアしていきたいということだ。

行革では、端的に言って先ほどのレーダーチャートにもあったように、合併をした市町村はすべてそうだが、合併前にそれぞれの自治体で持っていた施設を引き継いでいるので、当然類似した施設、老朽化した施設が多くあり、それを直ちに廃止や地元移譲ができないので、徐々には進めているが、そのスピードがやや遅いということで、その維持管理や運営に携わる職員も多いということで、合併をしていない類似団体と比べるとその辺りの数値が悪くなっているということだ。

その2点についても、行財政改革の中で重点項目ということでこれから取り組むこととしている。ただ、それを類似団体並みにするという事は、合併を経た自治体にとっては難しいことである。やらなくてはいけないが、非常に高い目標であるということをご理解いただきたい。

有本会長  
委員

そのほかの意見はいかがか。

24ページの健康づくりの推進についてだ。市民一人ひとりの健康づくりや生活習慣病を予防する意味で特定検診を勧めている。今年も9月まで行うが、非常に受診率が低い。何とか受診率を上げていただきたい。

昨年は新型インフルエンザが流行して、ワクチンの確保に苦勞したが、予防接種の助成があったために接種した人も多く、インフルエンザにかかる人も少なかった。そういう意味で、特定検診についても行政から知恵を出していただきたい。

有本会長

やや個別の内容になってきたので、この後の部会で回答をお願いしたい。最後に私から一言お願いしたい。

この厚い資料は、委員に配って読んでもらい、質疑をいただくということだが、市民の皆さんはこの分厚さの資料を渡されても読むこともできな

いし、議論はなかなか始まらないと思う。他の場所で経験があるが、A3一枚紙で文字や写真は小さくなるが、課題が一枚で分かるようにして用意してもらったことがある。事務局の仕事が増えてしまうが、この内容のエッセンスを固めて、一枚紙で、小さい字で A3 一枚、懇談会や分科会では大きな紙に拡大をして貼り出すような形で、恵那市の経営の現状と課題、業務方向それが一枚紙で、5 分か 10 分かけて読めば全体が分かる。それで議論を始めるといふ形できるように検討いただきたい。

これで議題については終了し、次第の 4 その他で部会についての説明をお願いして部会に移りたい。

#### 4 その他

事務局

〔事務局による説明〕

有本会長

これで第 2 回の委員会を終了する。休憩を挟んで部会に移りたい。

第 2 回総合計画推進市民委員会の全体会を終了する。ありがとうございました。